

歯科矯正学講座

研修コース紹介



昭和医科大学
SHOWA Medical University

診療の特色:

“医療サービスに従事する”という自覚を常に持ち続け、患者さんに信頼される歯科医師の育成を目的としております。また、科学的研究により、先進的な矯正治療の実現を行っております。医学系総合大学の診療科としての矯正歯科の特徴は以下の通りです。

- 1) 低被爆歯顎顔面用コーンビームCT、筋電図、顎運動解析に基づく先進的診断と治療
- 2) 昭和医科大学口蓋裂診療班として、昭和医科大学医学部・歯学部各科との連携
- 3) 外科矯正等における本学口腔外科・形成外科と連携したチーム医療
- 4) 育成医療指定医療機関および厚生医療指定医療機関



歯科用コーンビームCT



口腔内スキャナー



マルチブラケット装置



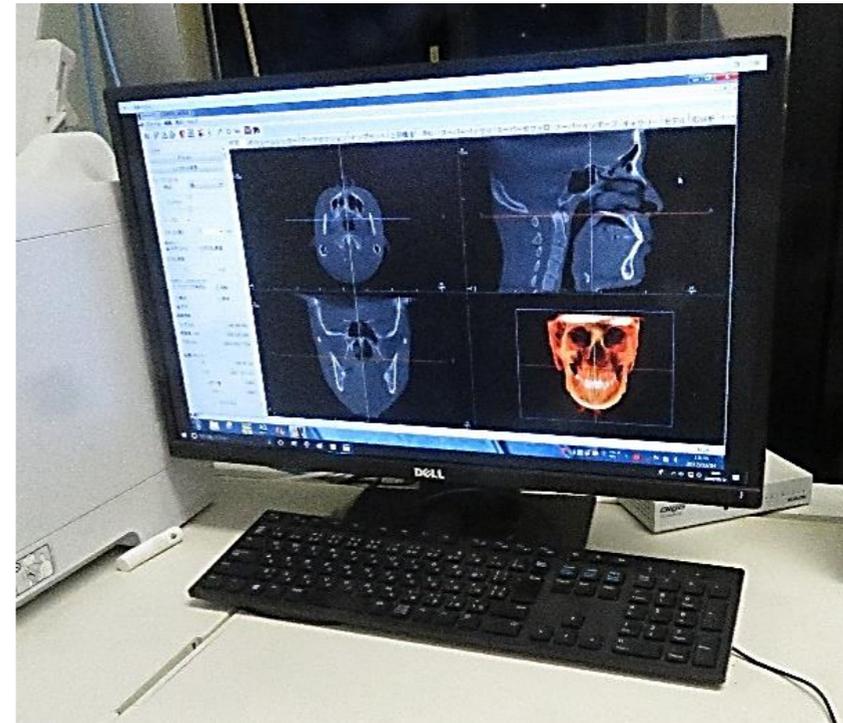
アライナー型矯正装置

設備の特色:

診療ユニット20台、口腔内および顔面写真記録機器(治療経過はすべてデジタルによる画像管理を行っております)コーンビームCTによる画像診断の設備(3次元画像構築用コンピュータ:歯・骨の3次元画像を解析)、機能検査室(筋電図:筋電計:咀嚼時の筋肉の働き, バランスを計測・記録、顎運動測定器:3次元顎運動解析機:顎の動きを立体的に計測・記録、咬合力測定装置、重心動揺計)、カンファレンスルーム、消毒室、矯正科技工室を完備し、教室員によるメンテナンスを行っております。医局、研究室が診療室に近接していることにより、診療に密接したアドバイスをリアルタイムでうけることができます。



診療室(ユニット20台)



CT画像解析

研修の特色:

矯正治療の必要性とその実際を経験し、歯科医師としての新たな資質を見出すことを目的としています。咬合育成や矯正相談に適切に対応できるとともに、実際の臨床に参加して、診断学及び治療学の体験を行うことを目標とします。一般臨床における矯正の応用ができる臨床医の育成を、さらに、将来矯正専門医として臨床、研究を希望する者においては、矯正研修3年コースの研修システムの紹介を行っております。特徴としては、コーンビームCTによる診断、アライナー型矯正装置など新しい矯正装置の導入により、最新の診断学、治療学についての見学、唇顎口蓋裂、顎変形症のチーム医療に参加等が挙げられます。

- (1) 指導医またはそれに準ずる歯科医師のもとでの臨床を行い、初診相談から検査、診断、治療、保定に至る一連の流れを習得する。
- (2) 唇顎口蓋裂、顎変形症における医学部形成外科、歯学部口腔外科とのチーム医療への参加を行う。
- (3) 矯正臨床においての最新の診断や技術に関わる情報得ることが出来る。
- (4) 学生講義・基礎実習に参加する。
- (5) 研究内容や臨床応用について見学を行う。
- (6) タイポドント実習を行い、スライド発表を行う。



症例検討会



タイポドント実習